



第439回 11/7(火) 「がくいきの会」

代表 芝原重喜さん 会計監査 大和田直子さん

2016年2月に、高齢化率が非常に高く独居の方も大変多くなっている地域として実情に合ったサロンをつくらうということで、2016年2月 自治会活動の一環として始めたふれあいサロン「南鶴間茶OH」を発足。その後、「文化作品展」「認知症カフェ・オレンジカフェ」「健康ウォーク」や「ラジオ体操」など活動の幅を広げてきました。2019年4月に自治会から独立し、自立して活動を始めようになりました。役員メンバーは15人、それぞれが得意なことで「楽しく関われる様に」企画を考えながら運営しています。コロナ禍の後も8/27に「西鶴間寄席」落語と三線演奏会 9/28「尺八とキーボードの演奏会」を開催できて活動の再開を皆さんと一緒に楽しんでます。



12月の出演 第441回 12/5「回想法プランニング」

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00 ~ 9:30 同日再放送 15:00~15:30

第440回 11/21(火) 「やまと国際オペラ協会」

会長 長谷部浩士さん ソリスト会員 小林英理子さん

本格的なオペラをオーケストラ付きで上演するというのが夢だった「やまと国際オペラ協会」はオペラが上演できるシリウスが2016年にできるので、それに向けて、2015年に団体を結成。今「やまと国際フィルハーモニー管弦楽団」と「やまと国際オペラ協会合唱団」を含め総勢110人くらいの大所帯になりました。そこで10年目を記念する大きなものとして、来年1月21日(日)にはコロナ禍で断念した経緯があるG. Verdiの歌劇「ドン・カルロ」(本邦初演の5幕版)を上演します。「ドン・カルロ」をもっと楽しむための無料音楽文化講座も12月に開かれます。大和市の「盛り上げ隊」「やまと国際オペラ協会」です。



第442回 12/19「市民劇団 演劇やまと塾」

TSUBASA's トーク 第25回 「引地川沿いのお寺と神社巡り」

☆地図を手にローカルな観光地を巡る

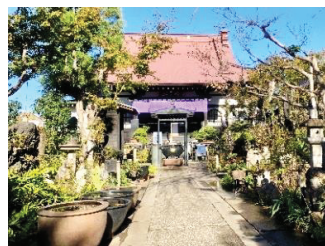
小田急線の高座渋谷駅から桜ヶ丘駅の方面へ、引地川沿いを歩きつつ、お寺と神社巡りをしました。



日頃から何かに行き詰まると、誰も興味のなさそうなローカルな観光地を一人で巡っている僕。今回もどんよりした頭と体に、秋の冷たい風を吹かせようと、「大和市ウォーキングマップ」を手に取りました。11月の日曜日、常泉寺や田中八幡宮、福田神社を巡るルートを組み、小田急線の高座渋谷駅に向かいました。

☆常泉寺のホシホウジャクは動かない

高座渋谷駅から、ウォーキング用のヤマトンの標識をたどって、渋谷学習センターの下をくぐり、商店街、住宅街と西に抜けていくと、「花のお寺」と呼ばれる常泉寺があります。



僕が到着したときは、ちょうど境内にいた人たちが出て行くところでした。

常泉寺は曹洞宗のお寺で、境内には無数のお地蔵様が道に沿って並んでいます。そのお地蔵様の間を埋めるように、樹木やサザンカなどの植物が植えられていました。大和市内のお寺と神社巡りにはあまり期待していない僕でしたが、常泉寺は予想を超えました。自分のほか誰もいなかったもので、音はせず静かです。耳を澄ませていると肌寒さも感じられてきました。

植物の葉の上で、スズメガの仲間のホシホウジャクが羽を休めています。指を近づけてもじっとして動きません。

人の忙しさとは別の時間が流れていて、お地蔵様と植物と虫の世にお邪魔した気分になりました。



☆ネコに独り言を聞かされていた

常泉寺からさらに西へ住宅街を進むと、引地川沿いで景色が開けます。空は快晴で、上流・下流のままで住宅が並んでいます。橋を渡り、下福田小学校のそばにある若宮八幡宮へ。若宮八幡宮には下福田地域を災難から護る神像がまつられています。人気はなく静かで、観光ではまず来ることのない小さな神社です。誰もいないのをいことに、二礼二拍手の後に声に出してツブツツと祈念していました。一人でウォーキングをする醍醐味は、ためらいなく独り言をつぶやき、堂々と道を間違えられるところです。



最後に一礼して、「さあ、引き続き引地川沿いを歩こう」とつぶやき振り返ると、遠くから視線を感じました。神社の敷地の隅の木陰から、ホルスタイン

柄のネコに見られています。僕が足を止めて見つめても、じっと見つめ返してきました。そのうちネコが下福田の神の力を帯びて話しかけてくる予感があったので、僕はさっさと住宅街の道に戻りました。

引地川沿いのお寺と神社を巡り、ホシホウジャクやネコの生活を覗いて「整い」を感じてきたところで、11月の引地川に足を浸しました。冷たい！もう頭と体はスッキリしていました。



(サポーター：尾畑 翼)

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

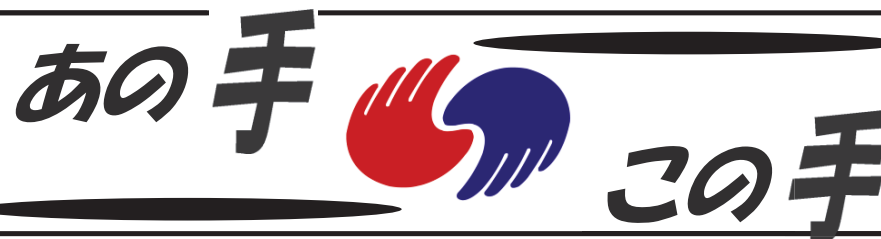
「あの手 この手」第197号 発行日：2023年12月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>  
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>  
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788  
e-mail:yamato@ar.wakwak.com  
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第197号 2023年12月10日 大和市民活動センター【拠点やまと】発行



12月号  
2023

ペテルギウス玄関  
12月7日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催

「第16回やまと国際アートフェスタ」

入賞作品を毎号掲載しています。

今回のテーマ ~ここから、未来へ~

インターナショナル賞

小波津 笑里 (こはつ えみり)さん

南林間小学校 6年生 ペルー

タイトル：「景色」

笑里(えみり)さんからのメッセージ：

「選ばれたことに、うれしく思っております」

お母さんからのメッセージ：

「この度、娘の絵が受賞したのを、家族一同大変喜んでます」

☆「やまと国際アートフェスタ」は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)の主催で毎年開催されています。

\*草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち 大和」を考えるボランティアグループです。

令和6年度 市民活動推進補助金 募集!

企画書提出期間	12月11日(月)~1月10日(水)	区分	趣旨	補助金の上限額
協議期間	1月11日(木)~1月30日(火)	めばえ	活動をこれから始める	5万円
申請期間	1月30日(火)~2月3日(土)	はぐくみ	または始めたばかりの団体	
公開プレゼンテーション	3月2日(土)	はぐくみ	既に活動をしている皆さんがより活動を発展させるために	20万円

市民活動推進補助金は、「大和市新しい公共を創造する市民活動推進基金」を活用して、補助金を交付し「新しい公共」の担い手となる市民活動を支援するための制度です。

対象：社会に貢献する非営利の事業で、主な活動場所または活動拠点が市内であり、主な受益者が市民であるもの。



申込み：1月10日(水)までに、応募書類を大和市民活動センターへ提出。説明・相談を実施。予約は当センターへ。※日曜・第3月曜・年末年始(12月29日~1月3日)を除く。詳細は募集要領をご覧ください。  
※市のホームページからダウンロードできます。また、大和市民活動センター、市役所市民活動課、各学習センターで配付。

## 第105回 連続共育セミナー (開催レポート) つながり 支え合う 地域づくりを目指して

11月18日(土)

今回の第105回共育セミナーは“学んで生き活きたした活動をしよう”ということから名付けられた「学活きの会」⇒「がくいきの会」代表 芝原重喜さんのお話です。



30名を越す盛況で、このチャンス！いきなり「自己紹介」から始まりました。「この人、近所だから…」「私の幼馴染よ…」「小さい頃から知ってるわ…」3名の市議も「がくいきの会」“先輩支援者”の中に加わって開場は大盛り上がり♪次に活動報告があり、主な活動の紹介です。

### 「ふれあいサロン (南鶴間茶 OH)」

老後も健康で生き生き過ごせることを目指し、種々のイベント<談話、簡単な体操、脳トレ、ミニゲーム、健康講話やミニコンサートなど>

### 「オレンジカフェ (認知症カフェ)」

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、気軽に集うことができる交流の場

### 「文化作品展 (趣味の作品展)」

趣味の作品を多くの方々に見てもらい、懇親の場を設けよう 文化作品展 木彫り、動く木工作品、手芸、絵画、写真、絵手紙、習字、保育園児の作品などを展示企画



### 「健康ウォーク (遊歩の会)」

“健康作りは歩く事”と大和市や近隣のウォーキングコース、名所・旧跡などを散策。

休憩時間、丁度スケジュール調整を組まれた市長がベテルギウスに寄って皆さんに挨拶。来られたばかりの市長さん…手を引っ張られて何やら健康運動にかり出されました。コグニサイズ\*という“運動と認知トレーニング”に大奮闘♪

やってみると「あれっ?できない!」「難しいよ…これ!」

(\*) Cognition 認知+Exercise 運動=合成語 Cognicise

この後、3班に別れての“グループワーク”に入りました。活発な意見の後、各班からの発表がありました。日頃老人会・自治会・社協等を通しての色々な意見が述べられました。

- 地区活動を通じて臨場感ある貴重な意見をメモしたところ、皆さん共通の悩みを抱えている様に感じました
- 近所の話合い等も遠のいて孤立化が深まっている
- 老人男性はサロンなどに来づらいのではないかな?
- 若者とのコミュニケーションが極めて少ない
- 自治会とシニアクラブとの連帯強化が必要
- 学区や防災区域で仕切られた自治会等考え直すべき
- 希薄な地域のつながり ↔ 自治会加入率の減少
- 市民後見人の育成とバックアップ体制を!
- 会員の高齢化により関連行事の開催が困難に...
- 公共施設のバリアフリー化推進

今日のセミナーもそうですが、「がくいきの会」の行事にはサポーターの方々がいつも大勢います。自治会や子ども会、老人会の方々もみえます。そして活動範囲もコミュニティセンター域、自治会域、学区や下部団体の領域に関係なく“住民の繋がり”を掲げて高齢化社会の中でリーダーシップを発揮して活躍しています。この様な芝原さん達仲間を羨ましく思い、またこんな地域の繋がりを見習いたい気持ちでセミナーに参加していました。盛り上がったワークショップを時間で締めるのは残念でしたが、皆さんの笑顔に包まれたこのセミナーに参加できて有意義な時間を過ごせました。



文とイラスト：望月 則男

## 第72回 いけばな 諸流展を訪ねて



11月25日(土)の午後、大和市文化創造拠点 シリウス1階のギャラリーに、「第72回 いけばな 諸流展 (大和華道協会主催)」を訪ねた。多様な流派の「いけばな」48点が、

華やかに、クールに展示されていて、パーティ会場にきたような気分になりました。

会場でお会いした、大和華道協会の大垣鳳菜(ほうしゅ)会長に次のように伺ってみました。

「毎年この諸流展を拝見していますが、他の華道展にな

いような自由さがあり、すごく現代的でアーティスティックであると感じるのですが、その根底にあるもの、あるいはなぜそう見えると思われませんか」

この問いに対して、大垣さんからは次のようにお答えいただきました。「そうですね。まずは多様な流派の方が出瓶されているので、そもそも作品が多様であること。そしてシリウスのギャラリーを使用することができるようになったことで、壁面を背負った展示だけでなく、空間に配置ができるようになったことも大きいと思います」

「そして、現代では、床の間のない家も多いというような建築様式の変化もありますが、このコロ



## やまなみ工房：滋賀県甲賀(こうか)市を訪ねました

去る10月28日(土)に、昨年、当誌でインタビューをさせていただき、共育セミナーで「福祉施設におけるアート活動の実践」をテーマにお話を頂いた中津川浩章さん(画家/アートディレクター/フリーキュレーター)が案内人をされた「あるがままの自分が認められる場所『やまなみ工房』を訪ねる旅：PARC 自由学校主催」に参加した。自身に取っては2回目の参加であったが、4年前の訪問時に比して、その活動は一段とグレードアップされていて、その自由さというか、居心地のよさというか、光のシャワーを浴びたような気がした。「やまなみ工房」を訪ねる旅は、来年もありそうです。

やまなみ工房は、1986(昭和61)年に滋賀県甲賀市誕生した。開設当初3名だった利用者は現在90名ほど。主に、知的、精神、身体に障害を持った方たちが利用している。

その施設長が山下完和(まさと)さん。そのロッカーのようないでたちと、語り口からは福祉施設の長とは想像できないかも。利用者のみなさんは、それぞれが思い思いに、多様な創作活動を自分の時間で、自分の場所で行っている。そのなんとも言えない、ゆったり感が訪問する私たちを癒してくれる。案内人の中津川さんの言葉を借りると「やまなみ工房を訪ねた人は、みんな人生変わったと言います」ということだ。スタッフの方もみんな明るい!!

皆さんも一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。人生観、本当に変わります。

文と写真：船越 英一



バイク?自転車オブジェに

利用者の作品、多くの人に着られる!!

瞬時に量産される作品も

山下さんと中津川さん(談笑中?)

やまなみ工房：〒520-3321 滋賀県甲賀市甲南町葛木町872 電話：0748-86-0334 mail：contact@a-yamanami.jp

## 11月の展示コーナー 大和地区日中友好協会



共育ボードより ☆ 双子のパンダ、かわいい! ☆ この様な活動が広がれば世界に平和がくるでしょうね。この21世紀にもなって戦争をしている人間は愚か者です ☆ 一衣帯水の日本と中国を結ぶ「大和日中友好協会」益々のご活躍を! ☆ 日中友好のシンボル~双子のパンダちゃん~なんとかわいい♡平和の祈りをこめて世界の人々に見てほしいです!! ☆ 双子のパンダ可愛いネ ☆ パンダのイラストのように、日中関係がうまく平和にいけばいいですね ☆ 世界和平! ☆ 友好的な国とは思えませんが、この様な活動の団体も民間では大切だと思います ☆ 歴史的に偏見はまだ残っていますが、徐々にもっともっと友好的な関係を築いていけたら持続可能な社会をつくる第一歩にもなると思いました ☆ パンダかわいい ☆ 子々孫々の日中友好を祈ります ☆ ぱんだかわいい

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

ナ禍で、より多様化が進んだように思います。今後ますますその傾向は続くと思えます。私が訪問した日と、翌日曜日の2日間で開催された華展、生花だけに、限られた時間の中で輝き、来場者に幸せと安らぎを届ける芸術祭のように感じました。

大和華道協会のみなさんには、ベテルギウスの正面玄関に生花を活けていただいています。当センターの「あの手この手」の巻頭頁の右上、小さいスペースだが、月初の生花を掲載頂いています。いつもありがとうございます。感謝。

文と写真：船越 英一

